

平成 29 年度
嵐山寮小規模多機能施設ひろさわ
サービス評価

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 14 日 (13 : 30～15 : 00)
平成 29 年 12 月 18 日 (13 : 30～15 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 14 名参加/全 13 名 (1 名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	5 人	2 人	12 人

前回の改善計画	すべての介護職員が年 1 回以上は、初回のモニタリングに同行する。 新規相談のニーズに応えられるよう即時対応を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規相談・利用のニーズに応えられるよう、家族とも連携し即時対応を実現している。 初回モニタリングに関しては、数回程度実施するものの、全て行うことが出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10	0	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	12	1	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	9	2	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	7	5	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ●本人がまだ慣れておられない時には、積極的にかかわり、不安に想われない様に努めている。 ●小規模多機能の通い・訪問・宿泊というサービスを一体的に行えるメリットを活かし必要時に即時対応ができています。 ●ケアマネ訪問時や送迎時・連絡帳で、家での状況や家族の介護負担の状況を把握している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ●ご利用者の支援は行えているが、家族や介護者に対する支援が薄い。 ●初回のモニタリング時に介護職員が同行することにしてはいたが、急を要する依頼等から人員調整が困難で実施出来ていない。 ●日々のミーティングは、出勤職員のみでの協議であり、公休時の職員への伝達不足がある。 ●情報に関しては、取り敢えず実施してる状況であり、情報伝達・周知が行えていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
●新規利用からの 1 ヶ月間は、積極的に声掛けを行い、利用中の様子 (言動・表情など) を 1 つ以上、記録に残す。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 14 日 (13:30~15:00)
平成 29 年 12 月 18 日 (13:30~15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 14 名参加/全 13 名 (1 名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	0 人	5 人	6 人	12 人

前回の改善計画	“私のこだわりシート”について、毎月の定例会議で2~3件の見直しを行う。 また、BPSD が顕著である場合や問題が発生した場合にシートの見直しを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	“私のこだわりシート”の作成・見直しを実施できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	3	6	3	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	4	3	4	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	6	3	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	4	5	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ●日々のかかわりの中で、ご利用者の思い・目標を傾聴し、寄り添えるように努めている。 ●実践したケア内容と新たな対応方法の提案は、ミーティングで話し合っている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ●目標を理解した上でのかかわりが出来ていない。 ●担当者が個別援助計画を作成しているが、結果を共有できていない。 ●利用者増加などから、業務に追われ、「～したい」思いまでいけていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ●目標「～したい」を把握する。 担当職員が、こだわりシートの記入を行い、ご利用者の目標「～したい」を把握する。 定例会議で他職員と共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 14 日 (13 : 30～15 : 00)
平成 29 年 12 月 18 日 (13 : 30～15 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 14 名参加 / 全 13 名 (1 名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	3 人	7 人	12 人

前回の改善計画	“私のこだわりシート”を共有し、チームとして以前の暮らし方についての情報収集を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	“私のこだわりシート”の作成・見直しを実施できていない。 ケアマネがアセスメントやモニタリングにて、暮らしに関して情報収集しているが、全職員まで浸透していない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	1	5	6	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6	1	1	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	3	5	2	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	5	4	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ●毎月の会議や日々のミーティングにおいて、ご利用者の状況にあわせたケア方針を検討し実践できている。 ●看護師、ケアマネ、介護職、管理者で日々のご利用者状況を把握し話し合える風土がある。また、その結果から即時対応行えている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ●以前の暮らしの情報が多く、また、把握する取り組みも行っていない。 ●かかわりの中から、情報収集しているが、個々の職員で把握しているに留まっている。全職員にまで共有が出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ●「以前の暮らし方」を 10 個以上“私のこだわりシート”に記入する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 14 日 (13 : 30～15 : 00)
平成 29 年 12 月 18 日 (13 : 30～15 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 14 名参加 / 全 13 名 (1 名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	2 人	5 人	5 人	12 人

前回の改善計画
地域の活動を把握する為に、回覧板・掲示板から情報収集する。
地域ケア会議などを通じ、必要に応じて事例提供を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
案内が来たものだけに確認し参加していた。
積極的に、回覧板・掲示板での把握はしていなかった。
ケア会議に関しては、事例提供行っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	2	4	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	3	4	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	5	3	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	3	6	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●自宅での様子に関しては、ケアマネ訪問時に把握するとともに、連絡帳で把握している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●本人と家族との関係には意識取り組んでいたが、地域まで考える余裕がなかった。
●施設内でのケアのみになり、地域資源を把握していない。
●地域との関係性が薄い利用者が多い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
●ご利用者自身が、地域でどのように暮らしていたか、地域とどのように関わってきたかを、“私のこだわりシート”に記入する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 14 日 (13 : 30～15 : 00)
平成 29 年 12 月 18 日 (13 : 30～15 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 14 名参加 / 全 13 名 (1 名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	2 人	3 人	7 人	12 人

前回の改善計画	ご利用者が住んでおられる地域の情報を収集しアセスメントシートに落とし込む。 事業所だけでは、支援が困難な場合に、近隣住民の声を把握するよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の情報をアセスメントシートに落とし込む作業が出来なかった。 事業所での支援困事例に関しては、運営推進会議で取り上げていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	4	5	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	3	4	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	9	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7	3	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●通い・宿泊・訪問に関しては、ニーズに合わせて適切に提供出来た。 ●ご利用者がその時その時の状況を把握しながら、通い・宿泊・訪問を即時・柔軟に対応で出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●事業所だけでかかわりが多くなり、地域の資源を使う事に一歩踏み出せないでいた。 ●地域資源を把握していないため、活用出来ていない。 ●日々の記録が少なく、変化に気づけていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
●利用中の様子 (言動・表情など) を 1 つ以上、記録に残し、変化をチームで共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 14 日 (13 : 30～15 : 00)
平成 29 年 12 月 18 日 (13 : 30～15 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 14 名参加/全 13 名 (1 名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	1 人	5 人	5 人	12 人

前回の改善計画
地域ケア会議や地域の各種機関・団体の活動に参加する。
児童館との連携を継続。幼稚園・小学校・中学校などとの連携も行う。
イベント開催時には、知恵シルバーセンターへの依頼も行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域ケア会議には、参加しているが、介護職員の参加、または、情報発信ができていなかった。
児童館等の連携は行えていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	2	3	6	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	3	7	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	3	5	4	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	2	2	4	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●各種会議には、ケアマネや役職者が参加し、地域の実情把握に努めている。
●地域交流ホールを活用し、地域の方々が事業所に来られる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●各種会議には、ケアマネや役職者が参加しているが、現場の介護職員がかかわることがない。
●地域のイベントの情報収集が行えていないことで、参加出来ていない。
●地域交流ホールには来られるが、事業所内まで来られることが少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
●地域ケア会議に、年 1 回は全職員が参加する。
参加していない職員には、回覧で情報を伝える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 14 日 (13:30~15:00)
平成 29 年 12 月 18 日 (13:30~15:00)

7. 運営

メンバー 14 名参加/全 13 名 (1 名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	7 人	0 人	12 人

前回の改善計画	利用者、家族、地域の意見や苦情を運営に反映する為、まずは意見を言いやすいシステム作りを行う。アンケートの実施や運営推進会議の在り方の見直し。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の意見・苦情を聞くためのシステム作りはできていない。 運営推進会議にて、地域の困りごとを確認するように変更した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	7	5	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	11	0	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	2	3	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	6	4	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●利用者・家族・地域から意見・要望・苦情があった場合には、会議やミーティングで話し合い、直ぐ対応できるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●地域と協働した取組みについては、具体的なものがない。 ●各地域ニーズの理解が事業所として、まだまだ不十分。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
●ご利用者のご家族の意見や要望をサービスに反映させるため、年 2 回以上アンケート調査を実施する。そのうち 1 回は、ご利用者に聞き取りを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 14 日 (13 : 30～15 : 00)
平成 29 年 12 月 18 日 (13 : 30～15 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14 名参加/全 13 名 (1 名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	5 人	5 人	12 人

前回の改善計画	外部研修に出席した後の伝達研修を行う。 他の小規模多機能施設との横の繋がりからスキルアップを図る。 地域密着協の研修、右京小規模の会、右京区事業者連絡会などへの参加。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修に参加する機会が少ない。 右京小規模の会・右京連絡会は、参加出来ているものもあるが、参加できていないことが多い。介護職員の参加、または、情報発信ができていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	5	1	4	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	3	4	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	10	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	9	3	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ●毎月定例会議にて勉強会を実施している。そこから、知識・技術・スキルアップに努めている。 ●ヒヤリハットに関しては、毎月の定例会議に 1～3 件ほど出し合い検討している。
---------------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ●部会・地域連絡会には、勤務体制上参加できていないことが多い。 ●職場外研修に関しては、特定の職員しか参加できていない。 ●日々の業務に追われ、事故やヒヤリハットに繋がっていると感じる。
----------------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ●小規模多機能部会・地域連絡会に、年 1 回は全職員が参加する。 参加できない職員へは、回覧にて情報伝達行う。 ●外部研修を受講した職員は、定例会議等で伝達研修、もしくは、研修報告を行う。
----------------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 14 日 (13 : 30～15 : 00)
平成 29 年 12 月 18 日 (13 : 30～15 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 14 名参加/全 13 名 (1 名産休取得中)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	2 人	5 人	12 人

前回の改善計画
“私のこだわりシート”の情報をチームとして活用し、不安や不快な思いを、その方の立場になって考える。その上で、スピーチロックを行わない方法で対応する。

前回の改善計画に対する取組み結果
身体拘束や虐待は行われていない。
研修としては今年度中に実施予定。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	6	0	0	12
②	虐待は行われていない	10	2	0	0	12
③	プライバシーが守られている	3	7	2	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	5	1	3	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	8	0	0	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●個人情報管理に関しては慎重に行っている。
●定例会議にて、都度スピーチロックについて話し合っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●プライバシーに関しては、トイレを利用者・職員都合で開けたまま行っていることがある。
●利用者の近くで、プライバシーにかかわる話をしている。また、リビング内で大きな声でしている。
●自由に出て行けない環境を作っている。
●帰宅願望が強く、路上に出た場合のリスクが高い方に対してスピーチロックを行う場面が時々ある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
●プライバシーを侵すような言動がないか、3 ヶ月に 1 回、定例会議で話し合う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人嵐山寮	代表者	理事長 寺本演夫	法人・事業所の特徴	当法人は平成28年4月に創立61年を迎え、観光地である嵯峨・嵐山周辺地域に4拠点を整備し、介護保険事業を始めとする高齢者福祉施設の運営を行っています。当事業所は、法人内では3番目の拠点であり、嵯峨・広沢・水尾・宕蔭学区を担当日常生活圏域とし、地域密着型特養（SS）・居宅介護支援事業所・サ高住を運営している。
事業所名	嵐山寮小規模多機能施設ひろさわ	管理者	吉永 光博		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	8人	0人	1人	0人	0人	5人	0人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価の改善案を実行します。	全職員で評価を実施。評価を行うことで、事業所の強み・弱みが分かった。	書類から全職員での自己評価されている事が確認できる。	①29年度の事業所自己評価で決定した改善計画を、30年度実行する。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域住民が足を運んで頂けるような施設行事を行います。同時に防犯対策も継続して行います。	地域の皆様、外部機関および、家族会の協力のもと、施設行事が行なえた。（七夕カラオケ居酒屋・フラワーアレンジメント・口腔研修など）	同一建物に、薬局・病院が一緒に入っていることから、初めての来訪者には、入り口が分かりにくい。また、駐輪スペースがどこなのかも分かりにくい。	①来訪者及び地域の皆様がわかりやすいような、駐輪場を含む事業所内の場所案内の表記をする。 ②地域の皆様にご参加いただけるような施設行事を開催する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事やイベントに、各学区のご利用者と一緒に参加します。	地域行事に、ご利用者・職員ともに参加させていただいた。（花見・地藏盆・ふれあい祭り・どんと焼き・高齢者と児童の交流）	きっかけがあれば相談したいと思うが、突然来ての相談はしにくい。また、相談会が無料である広報不足。	①気兼ねなく相談いただける事業所であるために、月二回の「介護相談会」を継続して開催する。そして、相談会の案内に「無料」であることを明示する。 ②事業所職員が、地域のイベントに最低年4回は参加させて頂く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	①ご利用者以外の方に事業所として関わられるよう、各学区の地域ケア会議等に出席する。 ②1人暮らしの利用者について、地域での関係性を確認し、必要に応じて挨拶に出向く。（例：親しい近隣住民や馴染みの店など）	①嵯峨・広沢地域ケア会議に出席した。 嵯峨地域ケア会議（6月・10月・2月） 広沢地域ケア会議（7月・11月・3月） ②送迎中・訪問援助時に、近隣住民に挨拶を継続して行なった。	送迎や訪問時に、近隣住民へもできること検討が必要。	①ご利用者が望む、地域のイベントに参加できるようサポートする。 ②地域との連携を強化するために、地域ケア会議に出席する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議にて、地域ニーズの議題を追加する。 （例：地域で心配な方について。地域での取組みに事業所として関わる内容など）	運営推進会議の議題に、地域の困りごとを追加し、地域の課題を検討する機会を設けた。	地域の困りごとを追加し、地域の課題を検討する機会ができた。	①運営推進会議で、地域の取り組みに事業所として関わることがないかを確認し、適宜関わりを持つ。 ②運営推進会議で、地域の心配な方等に関する情報を共有し、地域の方と連携の上、社会福祉法人として地

				域貢献できることを検討する。
F. 事業所の 防災・災害対策	運営推進会議メンバーに防災計画 (マニュアル)を提示し、意見集約 します。平成29年度は、地域の防 災訓練に参加します。	防災計画の提示ができなかった。 地域の防災訓練にも参加できな かった。	防災計画を知らない。訓練にも参加 したことがない。	①運営推進会議で、事業所の防災計 画を提示する。 ②事業所の防災強化を図るべく、地 域の皆様と一緒に事業所の防災訓 練を実施する。(都度参加を依頼す る。)